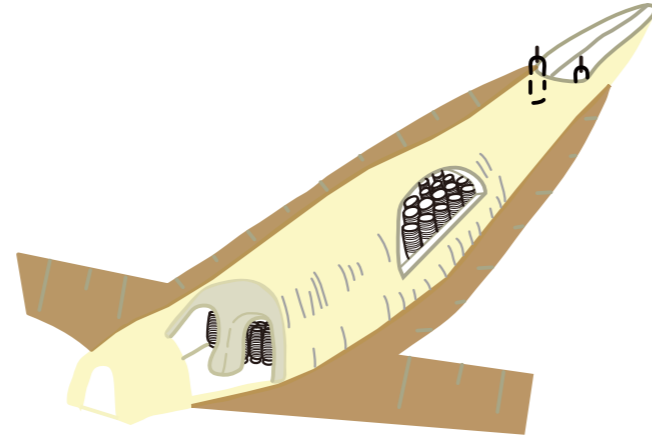


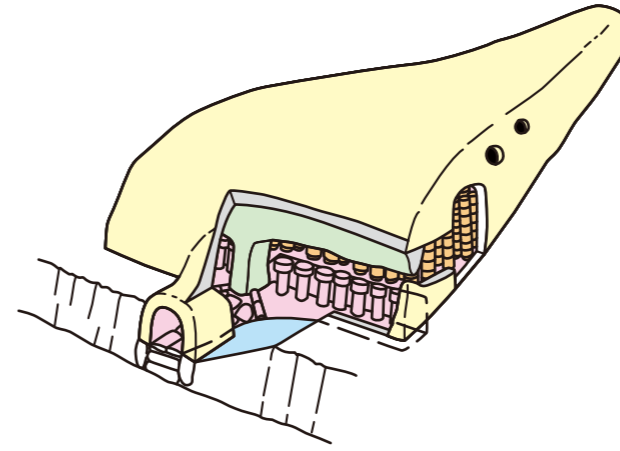
野焼



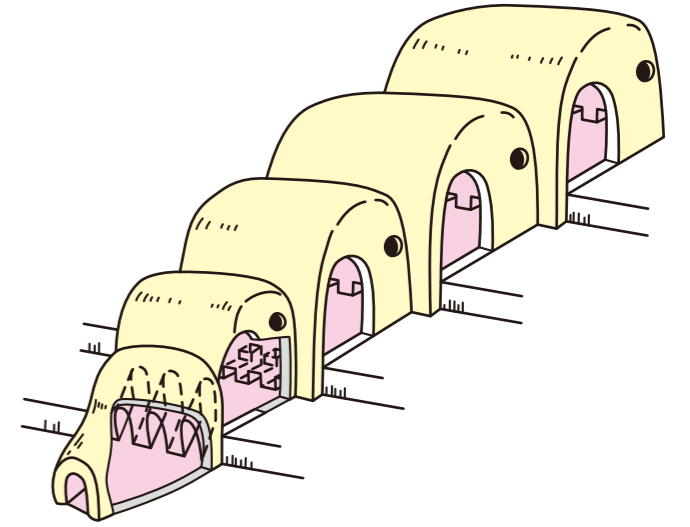
窖窯



大窯



連房式登窯



時代

縄文 弥生

室町 安土桃山 江戸 明治 大正 昭和 平成

野焼

縄文土器 —— 弥生土器 —— 土師器

窖窯

須恵器 —— 灰釉陶器 —— 山茶碗
 古瀬戸系施釉陶器
 中国陶磁の写し

大窯

美濃桃山陶
 黄瀬戸
 瀬戸黒
 志野

連房式登窯

織部 御深井 鉄釉
 美濃伊賀 色絵陶器
 美濃唐津 染付



縄文土器



土師器



須恵器



灰釉陶器



山茶碗



古瀬戸

- ・永禄2年(1559) 加藤景豊 大平で良土を発見
- ・永禄6年(1563) 加藤景豊 大平で開窯
- ・天正5年(1577) 加藤源十郎景成 大萱に開窯

- ・享和年中(1801~4) 染付の試し焼きをしたという
- ・昭和5年(1930) 荒川豊蔵志野焼成地を実証
- ・明治6年(1873) 大平陶器窯株売渡



黄瀬戸



瀬戸黒



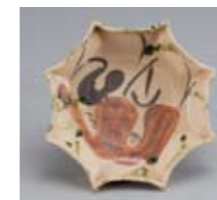
志野



鳴海織部



黒織部



弥七田織部



鉄釉



御深井



荒川豊蔵の志野



染付